

令和4年度天皇杯受賞者受賞理由概要
園芸部門

周年栽培と実需者ニーズへの対応で高収益を上げるコショウラン生産

○氏名又は名称 有限会社 花匠（代表 川口 正）

○所在地 滋賀県東近江市

○出品財 経営（コショウラン）

○受賞理由

・地域の概要

東近江市は、鈴鹿山系から琵琶湖に注ぐ愛知川や日野川の流域に位置し、近畿最大の耕地面積（8,420ha）を誇る一大穀倉地帯であり、肥沃な農地と豊富な水を活かして米、麦、果樹、畜産、花きなど質の高い農業生産が行われている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

シンビジウムとコショウランの2品目を生産していたが平成17年にコショウランの単品生産へと経営転換した。台湾で育苗し日本で育成するリレー栽培体系の確立や全自動環境制御設備を導入することで高品質周年栽培を可能とし、高収益を実現した。

・受賞者の特色

（1）リレー栽培や全自動環境制御設備導入による生産性向上と高品質化の実現

プラスチック苗からの育成栽培から、花芽分化前の大苗を輸入する海外とのリレー栽培に切り替えることで育成期間を3年から6ヶ月に短縮した。さらに、労働力不足や気候変動に対応するため全自動環境制御設備を導入し、自ら制御プログラムを作り上げたことで、周年栽培を実現するとともに、株廃棄率を20%から3%まで低下させた。その結果、年間生産株数は10万株に達し、令和元年には平成28年に比べ総売上が約2.4倍、営業利益が約7.6倍に向上した。

（2）“三方よし”の精神に基づく経営方針

近江商人の精神である「売り手よし、買い手よし、世間よし」の“三方よし”の精神に基づき、花き業界全体に貢献する考え方を大切にしている。関西圏の花き卸売市場への出荷を主軸とすることで労力とコストの削減に努めるとともに、画像だけで購入を決める消費者や宅配に対応できない小売店の増加を受け、ネット販売用の写真の提供や配送業務の引き受けなど、時流を捉えつつ作り手として花き卸売市場や小売店のニーズに応えることで絶大な信頼を得ている。

・普及性と今後の発展方向

滋賀県でトップクラスのコショウラン生産を実現するとともに、農業高校や農大からの積極的な研修生の受入れや従業員の福利厚生の実現に力を入れてきた。こうした経営スタイルは、地域で花き生産に取り組む生産者の優良モデルになるとともに、農業界の働き方改革に貢献するものである。

今後はパート従業員の正社員登用を進めるとともに、災害等による停電時でも自社だけでなく地域住民にも電力供給できるような体制整備を進めるなど地域に貢献していきたいとしている。